

# 一年に一度のショートフィルムの祭典



## ショートショートフィルムフェスティバル& アジア2017でShibuya Diversity Award 受賞作品の発表がありました

6月1日のオープニングセレモニーでは、受賞作品の発表と授賞式が行われ、「シブヤ ダイバーシティ アワード」として、「サミラ(Samira)」が選ばれました。このアワードは約9,000作品の応募の中から、全6作品がノミネートされ、6月1～25日の開催期間中、表参道ヒルズスペースオーなど各会場にて上映されました。



**ショートショート フィルムフェスティバル & アジアとは？**  
日本発・アジア最大級の国際短編映画祭。別所哲也氏(渋谷区観光協会名誉理事長)が平成11年に創立。平成16年に米国アカデミー賞公認映画祭として認定されました。

### 渋谷区とのタイアップによるShibuya Diversity Award (シブヤ ダイバーシティ アワード) 創設

28年に策定した新しい渋谷区基本構想の普及啓発活動の一環として、ダイバーシティ(多様性)とインクルージョン(その多様性をエネルギーへと変えてゆくこと)をイメージしたショートフィルムに賞を授与するもので、29年度から創設されました。

### 授賞式

渋谷ヒカリエで授賞式が行われ、長谷部区長がプレゼンターに。



区文化振興課交流推進係 (☎3463-1142 FAX3464-3406)

### 大賞

## 「サミラ Samira」

シャーロット・アー・ロルフ監督  
16:28/ドイツ/2016年



#### あらすじ

通訳のヤノツシュはハンブルグ港で警察のおとり捜査に呼び出される。現場では若いアフリカ人の女性がコンテナ船の中に立てこもり、自殺をしようと迫っていた。彼女を船の外に追い出すため、ヤノツシュは彼女を助けると約束する。しかしその約束が思いも掛けない結果をもたらすことになる…

#### 選考理由

多様性というテーマを一番感じさせた作品で、映画的にも重いテーマにも希望の持てるストーリー展開に今後の可能性と視聴者の共感が得られる作品であることから選出されました。

### シブヤ ダイバーシティ プログラム上映会

#### 観覧者の声

普段わからないことを  
映画を通して知ることができて  
良かったです。

#### 出演者の声

デヤン・ブキンさん  
たくさんの人たちに、  
この映画を観てもらえて  
うれしいです。



## 今年も ハナショウブが美しく

明治神宮御苑の菖蒲田では約150品種1,500株のハナショウブが咲き競い、多くの参拝者らがカメラを構え、美しさに見とれていました。菖蒲田は深い神宮の森に囲まれ、都心にいることを忘れてしまうほどでした。

(ハナショウブは「区の花」でもあり、デザインとしても使用しています。)



▲花言葉は「うれしい知らせ」「優しさ」など



▲奥には茅葺屋根の四阿が